



業務用

デルタダイレクト 現場監督

この度は、現場監督をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

ご使用前に取扱説明書をお読み頂き、正しくお取り付けの上ご使用ください。なお、誤った取り付けや不適当なご使用がもとで発生した破損・事故等につきましては、一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

- 弊社の「取扱説明書」には、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご利用いただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。
- 本書はいつでも取り出してお読み頂けるように、車内に大切に保管してください。
- 本製品をあなたから第三者へ譲渡する場合は、必ず本書もいっしょにお渡しください。
- 販売店様がお取り付けされた場合は必ず本書をお客様にお渡しください。

■本文中のマーク説明(表示と記号)

危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことに至る切迫した危険状況を示します。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険状況を示します。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷または中程度の損害を追う可能性が想定される危険状況、及び物質損害の発生のみが想定される状況を示します。

お願い この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかったり、故障する内容及び利用できない機能や事項などの説明を示します。

■必ずお読みください■

本製品は、客観的に作業風景の映像を記録することを目的として開発された車載用長時間映像記録装置です。前方後方風景を記録しますが必ずしも全ての事件・事故の記録を保証する製品ではありません。万が一、映像が記録されなかった場合や記録したデータが破損した場合などにつきまして、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

※以下の状況などで映像が記録されないことがあります。

1. 本製品が作動していなかった場合。
2. 本製品にマイクロSDカードを挿し込んでいなかった場合。
3. 外部からの強い衝撃を受けたことにより本製品が破損した場合。
4. 記録中にマイクロSDカードが取り出された場合。
5. 本取扱説明書の記載通り正しく設置されていない場合。
6. 車両のバッテリー容量が著しく低下した場合。
7. 車両の電気系統に異常がある場合。
8. マイクロSDカードは初期化(フォーマット)を実施せず、定期的に交換されていない場合。

マイクロSDカード、本体内蔵バッテリーは消耗品のため保証対象外になります。

■安全のため、以下の事項を必ず守ってください■

ご使用される前に下記の事項をよくお読みいただき、正しくお使いください。ここに示す注意事項は、本製品を安全にお使いいただきお客様や他の方々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

本文中「本製品」とは、現場監督 業務用ドライブレコーダー 本体及び接続する付属部品をさします。

製品について

- お客様ご本人又は第三者が、本製品及び付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた損害について弊社は一切の責任を負いませんので、予めご了承ください。
- 本製品及び付属品に改造などを加え、指定車両以外の車両に取り付けて発生する不具合、改造車両の損傷につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- 本製品の取り付け、及び取り外し作業中に破損した本体及び車体に関し、弊社は一切その責任を負いませんので、予めご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 製品が正常に作動するためには、車両の電気系統が正常であり、改造されていない事が条件となっております。

危険

- 車庫あるいは屋内等換気の悪い場所で、エンジンをかけて本製品を使わないでください。車両の排ガスによって、一酸化炭素中毒もしくは窒息死亡の恐れがあります。
- お子様の手の届かない場所に保管してください。お子様が誤って本製品を破損すると危険です。また、電源コードが首に巻きつくると窒息する恐れがあります。
- DC12VあるいはDC24V以外の電源を使用する場合は、DCコンバーターをご使用ください。
- 本製品内部に水を入れたり、濡らしたりしないでください。本製品には防水処理が施されていません。
- 本製品に火を近づけたり、水の中に投げ込んだりしないでください。火災・感電等の原因となります。
- 本製品は本取扱説明書のとおりに所定の位置に正しく取り付けてください。誤った取り付けをされると製品が正しく作動しないだけでなく、運転への支障や運転中に製品が落下する可能性があり、損傷や怪我の原因となります。
- 本製品を落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障や火災の原因となります。
- 本製品は走行中の記録だけに使う装置です。車載用の記録以外の目的には使わないでください。

警告

- 本製品を分解あるいは改造しないでください。感電する原因となります。点検・修理の必要がある場合は、お買い上げの販売店あるいは弊社にご依頼ください。
- 本製品より煙が出る、あるいは焦げ臭い匂いがあつた場合、本製品を使用しないでください。火災や感電の原因となります。すぐに本製品を取り外しお買い上げの販売店、あるいは弊社へご連絡ください。
- メンテナンスあるいはお手入れの時は、アルコール、ベンジン、シンナー等の引火性溶剤の使用はご遠慮ください。火災の原因となります。
- 電源ケーブルを傷つけたり破損させないでください。また本製品の取り付けを行う際は、電源ケーブルに負担がかからないように配線してください。漏電により火災・感電の原因となります。
- 濡れた手や体で電源ケーブル及び本製品に触らないでください。感電する危険があります。
- 運転者は走行中に本製品の調整を行わないでください。前方不注意となり事故の原因となります。調整する必要がある場合は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。

注意

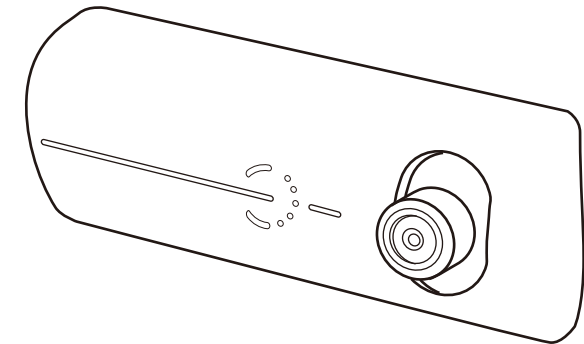
- 本製品に異物を入れないで下さい。部品のショートなどにより火災の原因となることがあります。
- エンジンを止めた状態（バッテリー消耗中）で本製品を長時間使用しないで下さい。バッテリーが消耗し、エンジンがかからなくなることがあります。
- 本製品の保存温度を超えた環境もしくは極端に高温・低温になる場所に放置しないで下さい。夏場の長時間日光の当たる場所や極端に低温の場所に放置すると、変形・故障の原因となることがあります。
- 本製品を取り外す時、必ず電源を切ってから取り外してください。電源が入ったまま本製品を取り外すと故障の原因となります。
- 汚れているマイクロSDカードを使わないでください。ホコリや水気もしくは他の液体がついているマイクロSDカードを使うと故障の原因となります。
- 電源ケーブルが運転者の視界または運転操作の邪魔にならないように配線してください。
- 電源ケーブルが車両の金属部でこすれたり、可動部（シートレールなど）に挟み込まれたりしないように注意してください。故障・損害の原因となる可能性があります。
- LED式信号機は目に見えない高速で点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は前後の映像や周辺の車両の状況から判断してください。LED式信号機が映らない場合については弊社は一切の責任を負いません。
- 本機で記録した映像は、その使用目的や使用方法によっては、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。被写体のプライバシーなどの権利を侵害した場合は弊社は一切の責任を負いません。

使用上の注意事項について 取り付け前に必ずご確認ください重要な注意事項があります。

- 電源コード・マイクロSDカードの過度な抜き差し、防滴ケース過度な開閉をしないようにしてください。
 - 内蔵バッテリーは充電回数500回程度が寿命となります。有償にてバッテリー交換させていただきます。
 - マイクロSDカードを取り出す際は、本製品の電源をOFFにしたことを確認した上(電源LEDが消灯すること)、カードを取り出してください。電源がONの状態ではカードを取り出すと、録画データが破損し、本体が故障する恐れがあります。
 - 本車ファームウェアの終了プログラムが終えるまで(終了プログラムーマイクロSDカード書き込み中)に車両電源をONにしないでください。録画データが破損し、本体が故障する恐れがあります。
 - マイクロSDカードは指示された方向に、正確に挿入してください。誤った方向に無理やり挿入すると、マイクロSDカードまたは挿入スロットの破損等、故障の原因となります。
 - マイクロSDカード以外の物をマイクロSDカード挿入スロットに挿入しないでください。故障の原因となります。
 - マイクロSDカード挿入に当たり、過度に強い力をかけないでください。故障の原因となります。
 - 本システムには蓄電式バックアップ電源があり、起動する度に自動的にバックアップ電源は充電されます。初めて使用する時、または10日以上以上の使用がなく再度起動する際、バックアップ電源が充電されていない状態での起動になるため、内蔵時計の日時設定を再度行ってください。寒冷地においては、バックアップ電源の持続が4日程度に短縮される場合があります。
 - 本製品は8GBから32GBのマイクロSDカードでの対応となるため、指定容量以外のマイクロSDカードは使用しないでください。(クラス10推奨)
 - マイクロSDカードは消耗品ですので保証の対象外となります。上書き可能回数は約500回ですので定期的に交換してください。
 - 本製品はAVI形式で連続記録を行います。容量が一杯になった場合は、古いデータから順次上書きします。
 - 録画データを管理する再生ソフトは本製品からマイクロSDカードに書き込みます。
- マイクロSDカードの交換を行った場合は、必ず本製品でフォーマットを行ってください

構成部品 取り付け前に必ず部品内容をご確認ください。

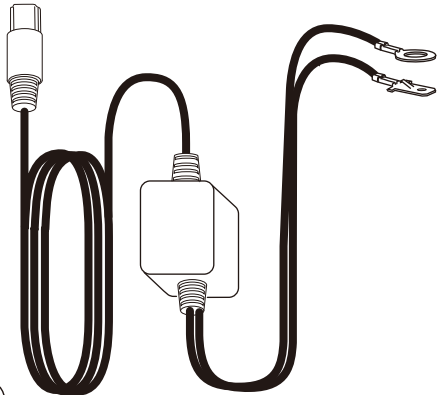
●本体ユニット



●32G マイクロSDカード



●電源コード

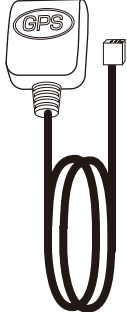


●タイラップ

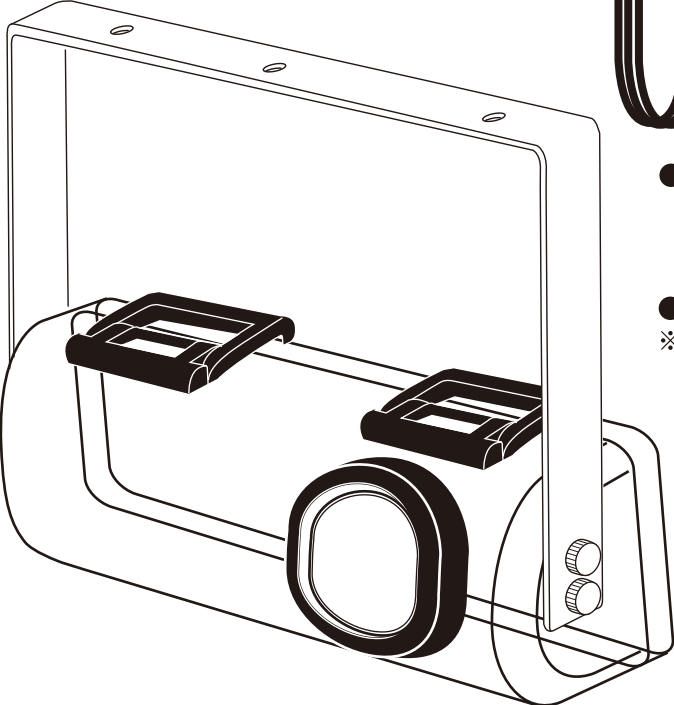


●GPSユニット

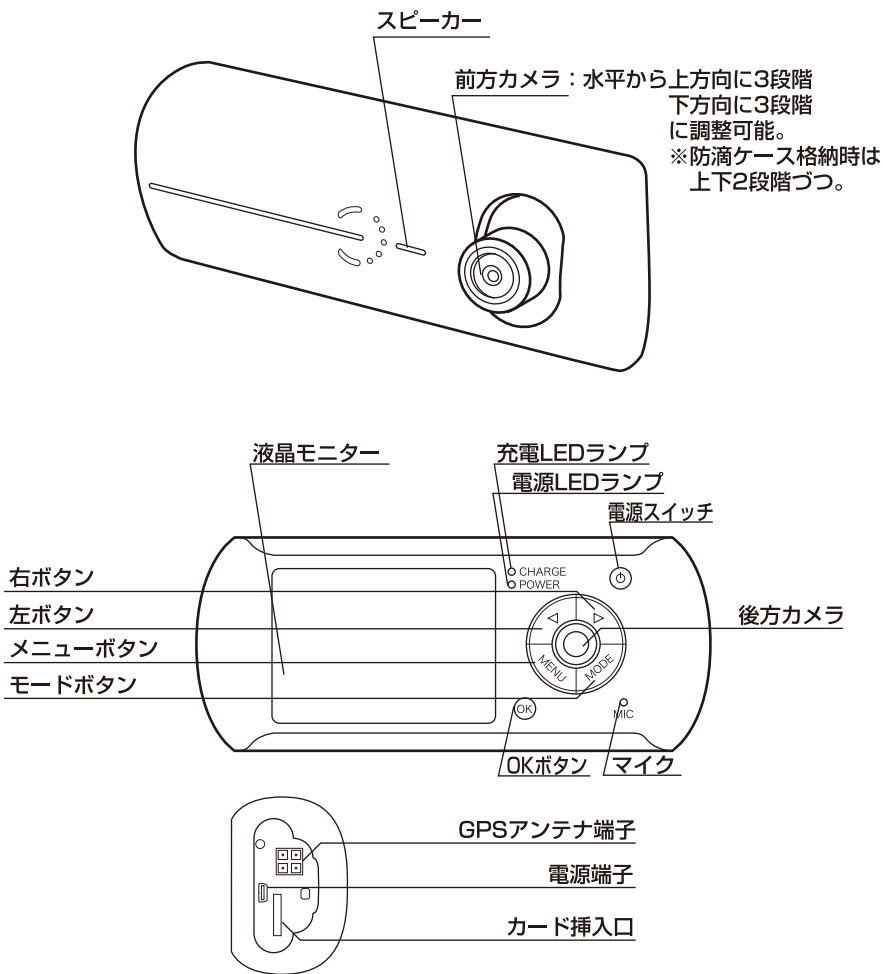
※D-1633 48Vフォークリフト用には付属されません。



●防滴ケース(取り付けステー付き)



本体ユニット詳細



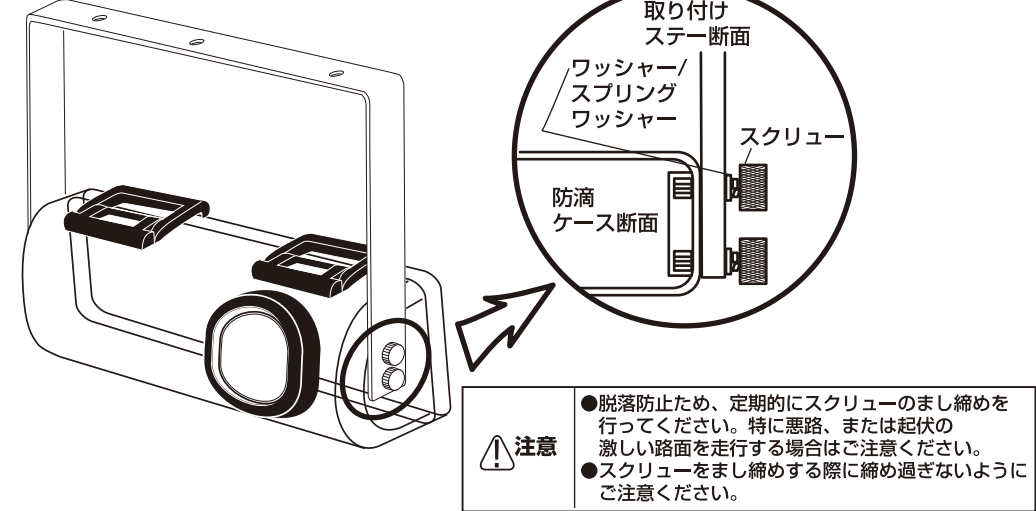
充電LEDランプ
電源LEDランプ
電源スイッチ
右/左ボタン
メニューボタン
モードボタン
前方カメラ
後方カメラ
OKボタン
マイク
スピーカー
液晶モニター
電源端子
GPSアンテナ端子
カード挿入口

：内蔵バッテリー充電時に点灯。
：本体に電源が“ON”の時に点灯。
：本体の電源を“ON”“OFF”する時に使用。
：メニューを選択したり録画ファイルを探す時に使用。
：本体の設定メニューを表示するときに使用。
：液晶モニターで録画データを再生するときに使用。
：本体から前方を撮影。
：本体から後方を撮影。
：録画、再生を停止、再開したり、設定を確定するときに使用。
：外部音声を受録。
：ボタンの操作音や動画再生時の音声を出力。
：現在撮影中の映像や、録画映像、メニューを表示。
：電源コードのコネクターの差込口。
：GPSアンテナコードの差込口。
：マイクロSDカードの挿入口。

取り付け方法

取り付け前に必ずご確認ください重要な注意事項があります。

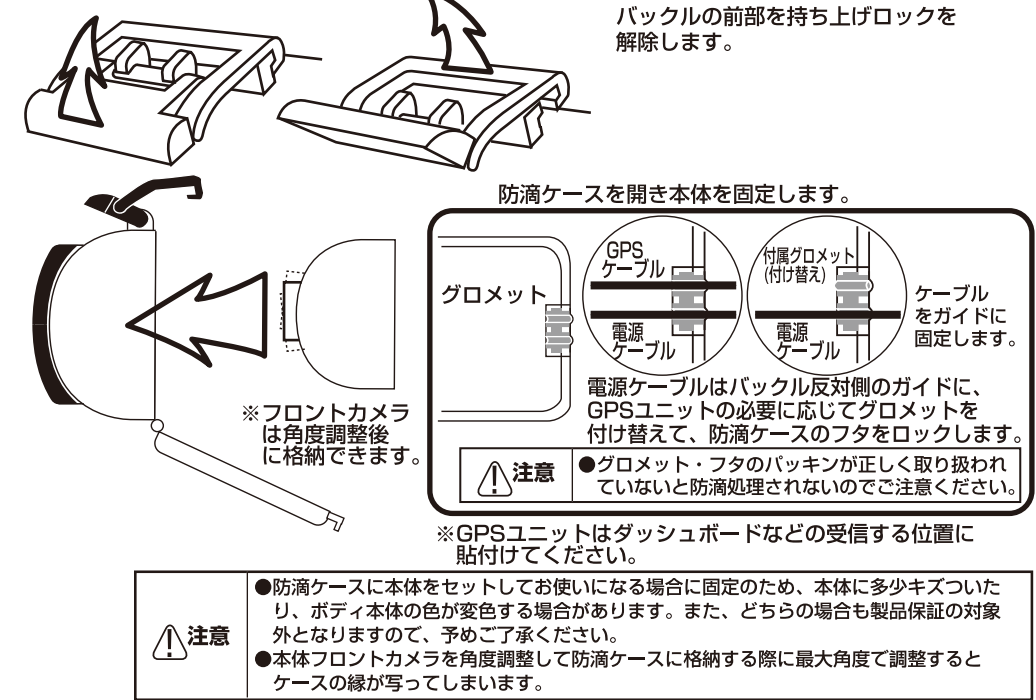
■防滴ケースと取り付けステー構成図。



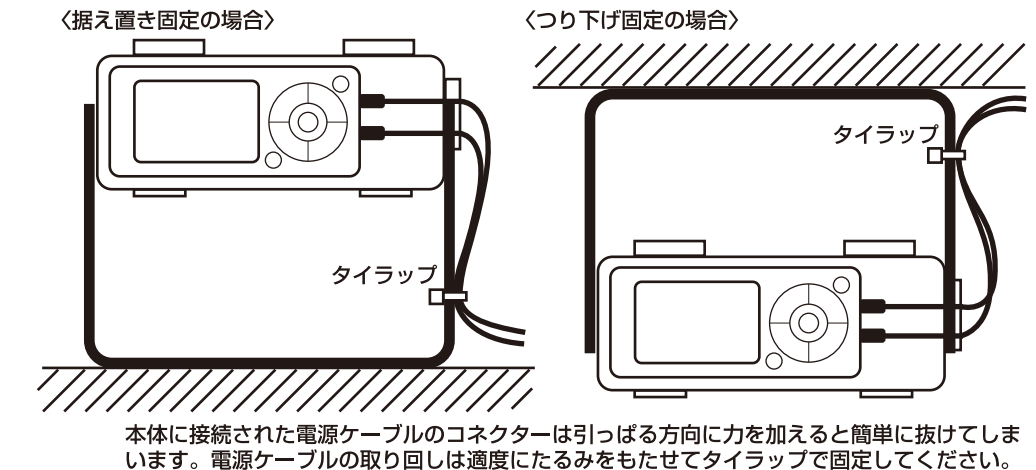
■防滴ケースの角度調整。



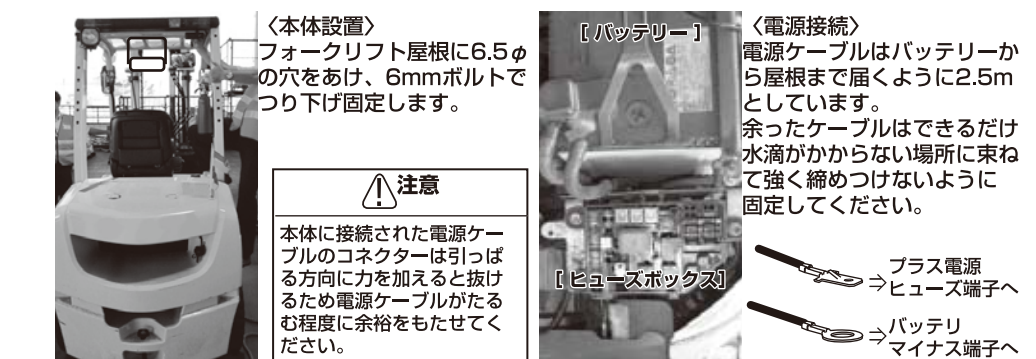
■防滴ケースに本体を入れて固定します。



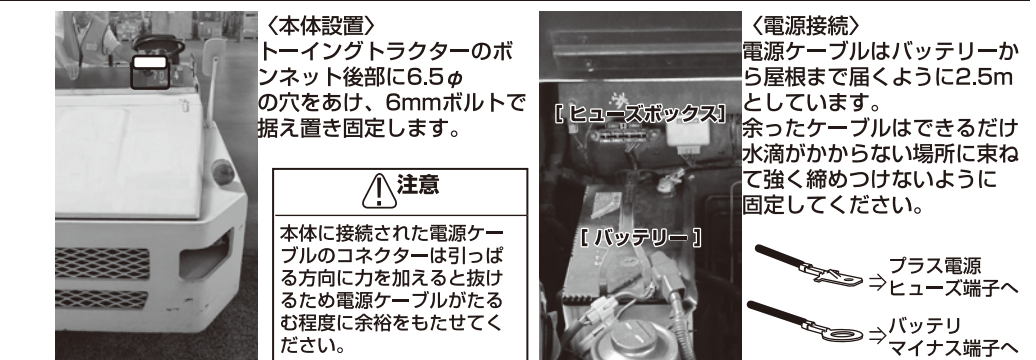
■電源ケーブルの取り回しについて



フォークリフトへの取り付け方法



トレーディングトラクターへの取り付け方法



操作説明

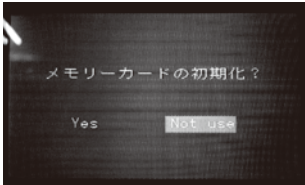
はじめに、レコーダー本体にはバックアップ電源用のバッテリーが内蔵されています。出荷時はバッテリー残量が少ないため、初期設定を行うときは必ず電源ケーブルを接続した状態で操作し初期充電を行ってください。

■基本操作

1.ドライブレコーダー本体のカード挿入口に、microSDカードを挿入します。一番奥まで差し込むと「カチッ」という音とともにロックされます。もう一度、強く押すとロックが解除されカードを取り出すことができます。

2.液晶モニターに「メモリーカードの初期化？」という画面が出てきます。「Yes」を選択しOKボタンを押して初期化を行ってください。

⚠注意 既に録画データが記録されたカードの場合、初期化するとすべてのデータが消去されます。あらかじめバックアップを行ってから初期化してください。



3.カードの初期化を行うと、録画したデータの再生や管理を行う再生ソフトがカードに書き込まれます。これで録画する環境が整います。

⚠注意 本体が起動中や録画中は絶対にカードを抜き差ししないようにしてください。

4.カードの初期化が終了すると自動的に録画が開始されます。OKボタンを押して 録画を停止します。各部の設定を行うため、液晶モニター左上の「REC」マークが消えていることを確認します。

液晶モニター左上の「REC」マークが表示され、本体が録画中の状態にあるときGPSマークが表示されます。GPSマークが表示されない場合はGPSアンテナを本体に接続していないとき、電波を受信できない状態です。このような場合はGPSアンテナの接続を確認し、受信状態が良い場所に設置してください。

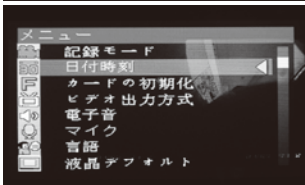
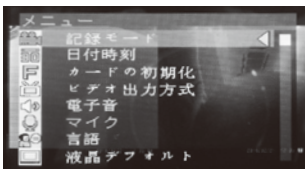
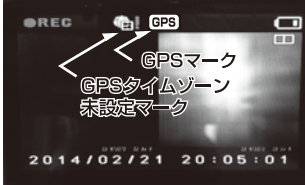
⚠注意 [GPSタイムゾーン未設定マークについて]

●ご使用地域が未設定です、表示されていない状態でご使用ください。

●GPSタイムゾーン設定方法

1.本体でmicroSDカードフォーマット後、パソコンでX2playerを起動させます。
2.microSDカードフォルダ内に「Default_Folder」ファイルが作成された事を確認し、本体にmicroSDカード挿入してください。
※「Default_Folder」はX2playerで使用する地図や言語などを設定するプログラムです。

5.各部の設定を行います。録画が停止されていることを確認し、メニューボタンを押して液晶モニターにメニュー画面を表示します。



6.記録モードの表示の時にOKボタンを押すと下の画面が表示されます。

「CH1 & CH2」は前後二つのカメラで録画します。

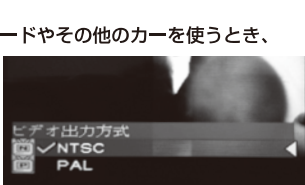
「CH1 Only」は前方カメラのみで録画します。

「CH2 Only」は後方カメラのみで録画します。

▶ 右ボタン、◀ 左ボタンで記録モードを決定しOKボタンを押して設定します。

7.メニュー画面で▶ 右ボタンを1回押し、日付時刻を選択しOKボタンを押します。

画面表示にしたがって▶ 右ボタン、◀ 左ボタンで数字を選択し、OKボタンで設定します。



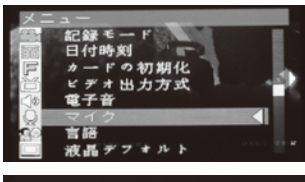
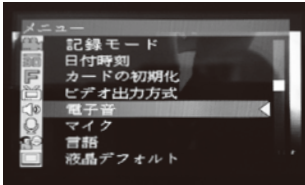
8.メニュー画面で▶ 右ボタンを2回押すとカードの初期化が選択されます。新しいカードやその他のカーを使うとき、記録エラーが発生したとき記録したデータをすべて消去するときに使用してください。

9.メニュー画面で▶ 右ボタンを3回押すとビデオ出力方式が選択できます。

NTSCを選択してください。(日本国内はNTSC方式)

▶ 右ボタン、◀ 左ボタンで選択し

OKボタンで設定します。

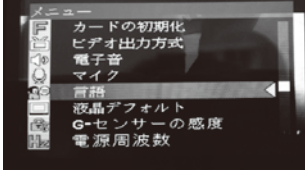


10.メニュー画面で▶ 右ボタンを4回押すと電子音が選択できます。こちらは本体のボタンを押したり、センサー等が起動したときに鳴る電子音を鳴らないようにすることができます。

▶ 右ボタン、◀ 左ボタンで選択し、OKボタンで設定します。

11.メニュー画面で▶ 右ボタンを5回押すとマイクが選択できます。こちらは本体に内蔵マイクで外部音声を録音するかどうかを選択します。

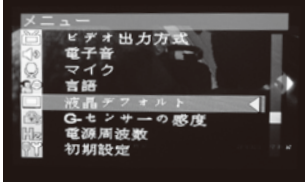
▶ 右ボタン、◀ 左ボタンで選択し、OKボタンで設定します。



12.メニュー画面で▶ 右ボタンを6回押すと言語が選択できます。

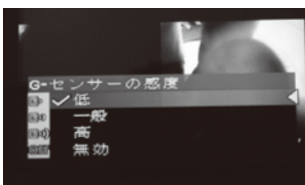
▶ 右ボタン、◀ 左ボタンで選択し、OKボタンで設定します。

⚠注意 基本設定は日本語になっておりますので設定の必要はありません。



13.メニュー画面で▶ 右ボタンを7回押すと液晶デフォルトが選択できます。こちらは本体の電源が入っているとき、録画しているときに液晶モニターを非表示にすることができます。

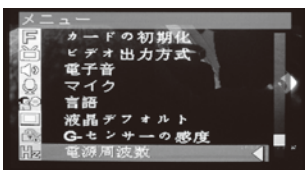
「切」を選択すると本体に電源が入ったとき、何かボタン操作を行ったときから約5秒後に液晶モニターの表示が消えます。「入」を選択すると液晶モニターが常時表示されます。▶ 右ボタン、◀ 左ボタンで選択し、OKボタンで設定します。



14.メニュー画面で▶ 右ボタンを8回押すとGセンサーの感度が選択できます。こちらは録画フォルダーのG-LOCK(上書きされないように保護すること)を行うときに振動、衝撃の感度を3段階に設定できます。

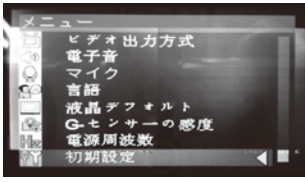
「低」かなり大きな衝撃が加わったときにフォルダーをロックします。「一般」日常的な振動が加わったときにフォルダーをロックします。「高」小さな振動が加わったときにフォルダーをロックします。「無効」フォルダーロックは行われません。

▶ 右ボタン、◀ 左ボタンで選択し、OKボタンで設定します。



15.メニュー画面で▶ 右ボタンを9回押すと電源周波数が選択できます。こちらはご使用地域に応じて設定ください。

▶ 右ボタン、◀ 左ボタンで選択し、OKボタンで設定します。



16.メニュー画面で▶ 右ボタンを10回押すと初期設定に戻すが選択できます。こちらは各種設定を一からやり直すときに使用してください。この操作を行うと予め設定した記録がすべて消去されますのでご注意ください。

▶ 右ボタン、◀ 左ボタンで選択し、OKボタンで設定します。



業務用

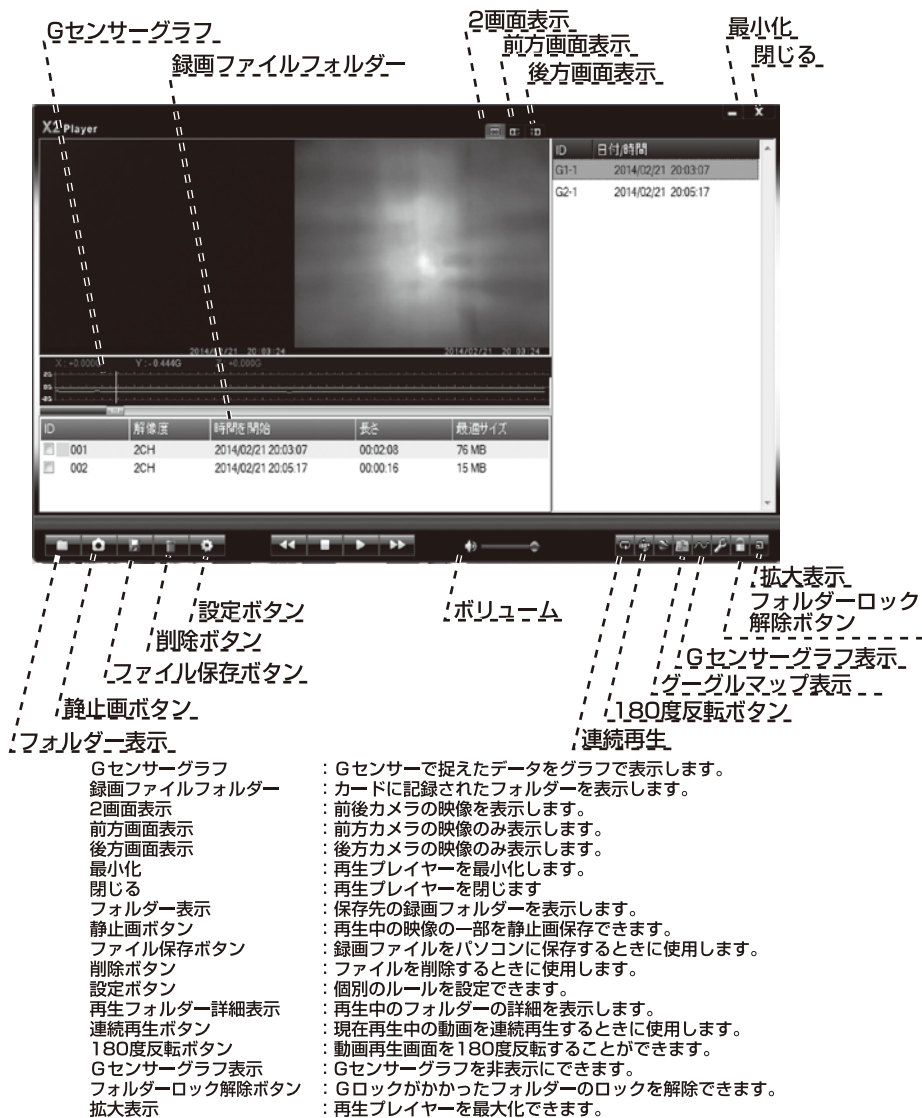
デルタダイレクト 現場監督

使用環境やセキュリティによって、再生ソフトや動画ファイルをパソコンにインストールできない場合があります。
このような場合はパソコンメーカーか、セキュリティメーカーにお問い合わせください。

録画データの再生手順

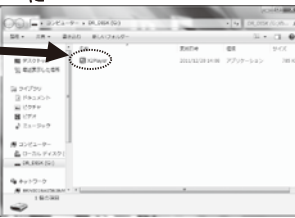
- ドライブレコーダー本体の液晶モニターで再生する場合、下記手順で行ってください。
- 1.本体が録画中の場合、OKボタンを押して録画を停止します。
 - 2.モードボタンを一回押すと一番古いデータの静止画が表示されます。
 - 3.次にOKボタンを一回押すとそのデータが再生され、もう一度OKボタンを一回を押すと再生を停止します。
 - 4.再生が停止しているとき、▶右ボタンと▶左ボタンで見たい動画ファイルを探すことができます。

各部の名称



操作手順

- 1.ドライブレコーダー本体からmicroSDカードを取り出し、パソコンのカードリーダーに挿入する。
- 2.開いたファイルの中にあるX2Player.exeをクリックし実行する
- 3.再生プレイヤーが立ち上がり、録画ファイルフォルダーに録画ファイルが表示される。
- 4.録画ファイルをクリックすると再生開始。



■フォルダーのアイコンについて

ID	日付/時間
G1-1	2013/07/18 19:46:39
G2-1	2014/02/21 20:05:17

●Gロックフォルダー

Gロックフォルダーとは、Gセンサーを設定している場合、録画中に大きな衝撃が加わったフォルダーが上書きされないように保護する機能です。

Gロックの解除は再生プレイヤーで行うことができます。

ID	日付/時間
G5-1	2014/07/10 20:06:11
G5-2	2014/07/10 20:08:40
G5-3	2014/07/10 20:10:23
G5-4	2014/07/10 20:12:05
G6-1	2014/07/10 20:13:47
G7-1	2014/07/11 12:14:14
G7-2	2014/07/11 12:15:18
G7-3	2014/07/11 12:16:23
G7-4	2014/07/11 12:17:40
G8-1	2014/07/11 12:18:43

●ファイルエラー...

フォルダーエラーとは、録画中、ファイルを作成する段階で異常終了したときに発生します。これはパソコンの強制終了と同じで、データが保存されません。

■録画データの保存について



●ファイル保存ボタン

左側の画像は再生プレイヤーの左下部分を拡大したものです。録画データをパソコンに保存する場合、まずファイル保存ボタンをクリックします。別ウィンドウでフォルダーの選択画面が表示され保存したいフォルダーを指定します。「すべてのファイル」にチェックを入れると一括して保存できます。次にパソコンの保存先を指定し保存作業完了となります。

■保存先のデータを再生プレイヤーで再生する方法



●フォルダー表示...

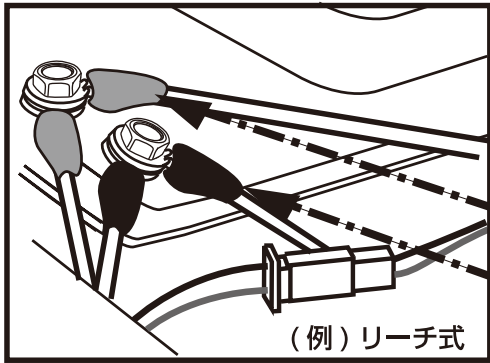
再生プレイヤー左下のフォルダー表示ボタンをクリックすると、別ウィンドウでファイルを参照が開きます。保存先の動画フォルダーを指定しOKをクリックします。録画ファイルフォルダーに保存先のファイルが表示されたら作業完了です。

48V フォークリフト用 DC コンバーター取扱いについて

■電源の取り出し

[カウンター車例]

- 1.シート下のバッテリー積載が確認できる状態にします。
- 2.後方部の⊕⊖共に車両のスイッチ ON/OFF で導通の確認できるターミナルから電源を確保してください。

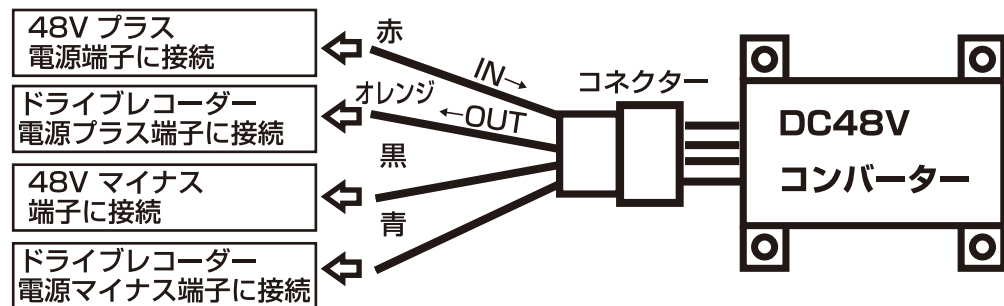


プラス電源 48V

マイナス電源

(例) リーチ式

■配線の接続



48V プラス電源端子に接続

ドライブレコーダー電源プラス端子に接続

48V マイナス電源端子に接続

ドライブレコーダー電源マイナス端子に接続

主に積載バッテリー付近の主電源ターミナルから 48V 電源を確保してください。

《主要諸元》

品名 / 品番	DC コンバーター変圧器 48⇒12V
入力 / 出力電圧	入力電圧 36V~60V / 出力電圧 12V 10A (72V 電源の直接使用不可)
サイズ / 重量	タテ 87× ヨコ 123× 高 36(mm) / 165(g)

《構成部品》

主要部品	コンバーター本体	×1
付属部品	コネクター (オス)	×1
付属端子	コネクター端子 (メス)	×4

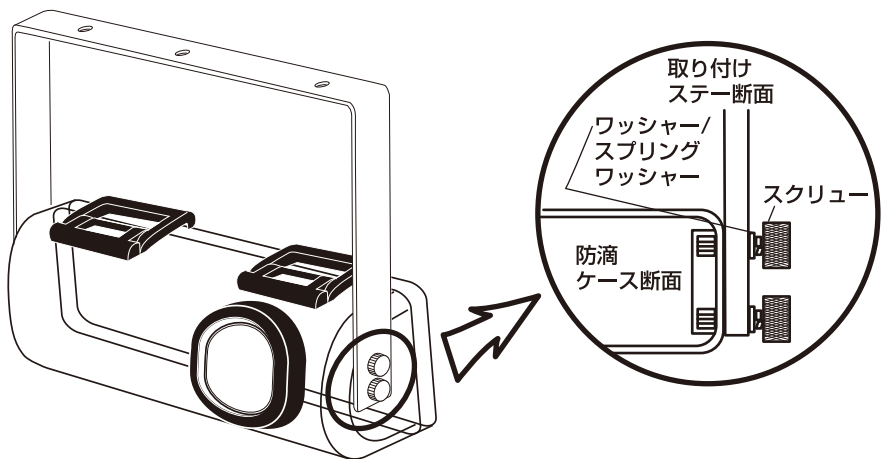


注意

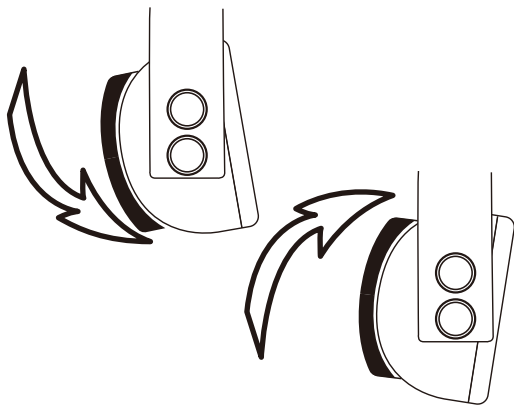
●72V車に使用する場合、48Vの電源確保可能な場合のみ使用できますが、72V車の⊕電源を直接入力した場合 DCコンバーター本体の破損の原因となります。

取り付け方法 取り付け前に必ずご確認ください重要な注意事項があります。

■防滴ケースと取り付けステー構成図。



■防滴ケースの角度調整。

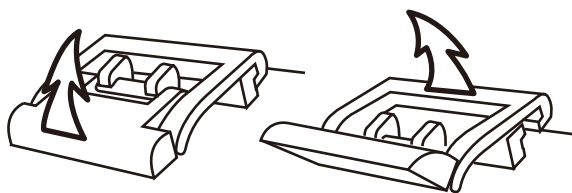


取り付けステーにはスクリューがスライドできるように溝があります。水平から上下に5°程度の範囲で防滴ケースを固定できます。

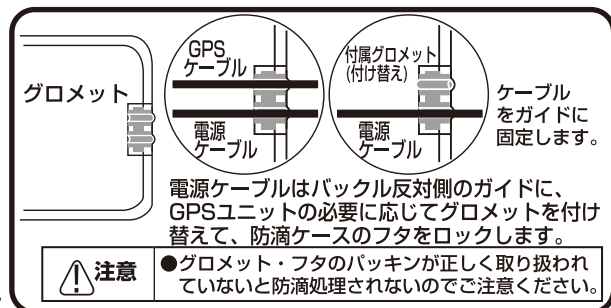
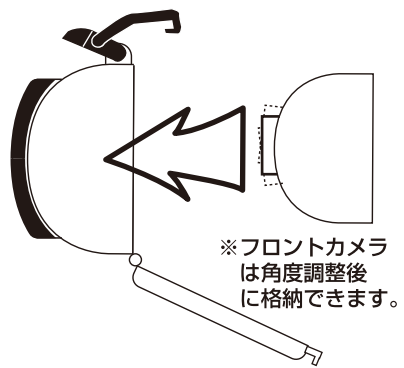
- 注意**
- 脱着防止ため、定期的にスクリューのまし締めを行ってください。特に悪路、または起伏の激しい路面を走行する場合はご注意ください。
 - スクリューをまし締めする際に締め過ぎないようにご注意ください。

■防滴ケースに本体を入れて固定します。

- ① バックルの前部を持ち上げロックを解除します。

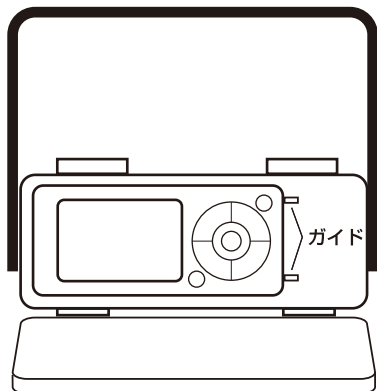


- ② 防滴ケースを開き本体を固定します。



※GPSユニットはダッシュボードなどの受信する位置に貼付けてください。

- ③ ①の逆の要領でバックルをロックし防滴ケースを閉めます。



本体を防滴ケースに格納する際はケース内側のガイドにそって正しい位置で行ってください。

- 注意**
- 正しい位置で格納できていない状態でケースを閉めた場合、本体が破損したり、誤作動する場合があります。

- 注意**
- 防滴ケースに本体をセットしてお使いになる場合に固定のため、本体に多少キズついたリ、ボディ本体の色が変色する場合があります。また、どちらの場合も製品保証の対象外となりますので、予めご了承ください。
 - 本体フロントカメラを角度調整して防滴ケースに格納する際に最大角度で調整するとケースの縁が写ってしまいます。

仕様

映像入力画素	34万画素 (1カメラ 702×480)
F値	2.0
画角	前 140° (D) 101° (H) 72° (V) /後 120° (D)
LCD寸法	2.7インチ (16:9)
記録時間	最大8時間 (マイクロSD 32GB Class10推奨)
マイクロSDカード適応範囲	8~32GB
ファイル保護機能	Gセンサーファイル保護機能搭載
電源電圧	DC12V/24V対応 耐電 DC9V~30V
予備電源	リチウム電池内蔵
本体サイズ/重量	高177mm/横165mm/奥行43mm/332g(防水ケース含む)
本体サイズ/重量	高48mm/横125mm/奥行35mm/103g(レコーダー本体)
GPS機能	GPS対応
動画再生ソフト	本体内蔵 (本体からマイクロSDカードにインストール)
対応OS	WINDOWS:7(32bit)/Mac:OS X10.3.6
その他の機能	内蔵マイクで音声も同時に録音可能

保証書

この度は、当社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。当社の製品は厳密な品質管理と検査のうえ、出荷いたしておりますが、万が一お買い上げ後、保証期間中に故障が生じた場合は、本保証書記載内容のとおり無料で修理及び調整をいたします。

マイクロSDカード 本体に蔵バッテリーは消耗品のため保証対象外になります。

商品名:	所:
型式名:	電話 ()
製造番号:	住所:
ご購入日:	年
保証期間:	1年

株式会社 デルタ

〒552-0007 大阪市港区弁天2-2-17
TEL.06-6572-4433

保証条件について

- 保証内容
保証期間はご購入日より1年といたします。保証期間中に、本製品の材質上及び構造上の不備による故障が生じた場合、販売店まで本保証書を添えてご送付いただければ無償で修理いたします。
- 適用除外
保証期間中であっても、下記の場合は保証いたしかねますのでご了承ください。
販売店にしかって別途、有償での修理・交換となります。
1.ドライブレコーダー本体に蔵のリチウムバッテリー。
2.お取り付け後の付属取り付けステー・防滴ケースの劣化。
3.ご使用上の誤りやお取扱い上の過失により生じた故障及び損傷。
4.当社指定以外で行われた修理・改造が原因で生じた故障及び損傷。
5.消耗品及びこれに準ずる部品。(ヒューズ・接続コード・マイクロSDカード等)
6.ご購入後の輸送、移動、落下などにより生じた故障。
7.火災、地震、水害、異常電圧、及びその他の天変地異などにより生じた故障及び損傷。

本保証について

- 1.本保証書は大切に保管してください。(販売店、購入日など)もれることのないように記入してください。
- 2.万が一故障の場合、製品に保証書を添えて販売店までご持参ください。保証書の規定に従い修理させていただきます。
- 3.保証期間が切れている場合及び使用上の不注意による故障の場合はご希望により有償での修理・交換とさせていただきます。

アフターサービスにおける参考資料とさせていただきますので、お客さまの使用状況をできるだけ詳しくご記入ください。

使用詳細

- ご注意
- 当社が発行した保証書でない場合や所定事項の記載されていない保証書は無効となります。
 - 保証書は再発行いたしません、大切に保管してください。
 - 本保証書は日本国内においてのみ有効となります。